

2型糖尿病に対する漢方薬(Draft翻訳*)**最新版(英語版)はこちら**

最終改訂年月 : 26 May 2002

背景: 伝統的な漢方薬が糖尿病の治療に長期にわたって使用されており、これらの効果を調査するために多くの試験が行われている。

目的: 2型糖尿病患者に対する漢方薬の効果を評価する。

検索戦略: 次の電子データベースを検索した: Cochrane Library (CENTRAL)、Chinese BioMedical Database、MEDLINE、EMBASEおよびLILACS。中国の雑誌と会議録のハンドサーチも行った。最後の検索日は2004年4月であった。言語は制限しなかった。

選択基準: 生薬(治療期間は2カ月以上)とプラセボを比較したランダム化試験を選択し、薬理的介入または非薬理的介入を採用した。

データ収集分析: 2名のレビューアが独立にデータを抽出した。ランダム化、割付けの機密性、二重盲検性および脱落率のパラメータを用いて試験方法の品質を評価した。データが利用可能な場合にメタアナリシスを行った。

主な結果: 患者8,302名を対象とした66のランダム化試験が採用基準に適合した。試験方法の品質は、全般的に低かった。採用した試験では、69の生薬が検討されており、プラセボ、血糖降下薬、または生薬と血糖降下薬の併用と比較されていた。プラセボに比べ、ホーリーバジル葉、Xianzhen Pian、Qidan Tongmai、伝統的漢方処方(TCT)、Huoxue Jiangtang PingzhiおよびInolterは有意な血糖降下作用を示した。グリベンクラミド、トルブタミドまたはグリクラジドなどの血糖降下薬に比べ、Bushen Jiangtang Tang、合成Trichosanthis、Jiangtang Kang、Ketang Ling、Shenqi Jiangtang Yin、Xiaohe TangおよびYishen Huoxue Tiaoganなどいくつかの生薬は有意に良好な代謝調節作用を示した。生薬と血糖降下薬の併用を評価した29の試験では、15種類の生薬製剤が血糖降下薬単独よりもさらに良好な効果を示した。食事内容と行動の変更を併用した2つの生薬療法は、食事内容と行動の変更だけの療法よりも良好な血糖降下作用を示した。生薬による重篤な有害作用は報告されていなかった。

レビューア見解: いくつかの生薬は、2型糖尿病に対して血糖降下作用を示している。しかし、方法論的質が低く、対象者数が少なく、試験の数も限られていることから、これらの所見は慎重に解釈すべきである。陽性所見がいくつか観察されたことに照らして、いくつかの生薬は高品質の試験でさらに検討する価値がある。

Citation: Liu JP, Zhang M, Wang WY, Grimsgaard S. Chinese herbal medicines for type 2 diabetes mellitus. The Cochrane Database of Systematic Reviews 2002, Issue 3. Art. No.: CD003642. DOI: 10.1002/14651858.CD003642.pub2.

Clib issue No.: 2005 issue 4

CRG名: Metabolic and Endocrine Disorders

* **ご注意:** この日本語訳は、試験的翻訳(Draft翻訳)版として公開するものであり、翻訳の正確さや質が保証されたものではありません。訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡下さい。また、この試験的翻訳版はコクラン・ライブラリ2005年issue 4に掲載されたレビュー・アブストラクトの翻訳です。コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されていますので、ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認下さい。